※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　芸術科　［音楽］

教科	音楽	科目	(学)保育音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	全訳バイエル・ピアノ教則本(全音楽譜出版社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、器楽演奏などの課題に対して自ら考えて主体的に取り組むとともに、周りの人と協働で歌唱や合奏などの活動を行います。
・「保育音楽 I」で習得したピアノの基礎的な演奏技術についてさらに研鑽し、より難易度の高いピアノ曲の演奏技能の習得を目指します。
・「保育音楽 I」と同様に、毎時間の練習を通して演奏技能を習得し、練習成果を互いに発表したり、評価したりする音楽的活動を行います。
・器楽の演奏技能は、授業中の練習だけでは十分に上達するものではありません。放課後の補習に参加したり家庭での練習に取り組んだりしましょう。
・楽器の演奏技能を高めるために音楽の基礎的な知識を身に付けることも大切です。楽譜を読む力を高めることで、発展的な課題にも積極的に取り組みましょう。
・「保育音楽Ⅱ」では、単にピアノの演奏技能を学ぶだけでなく、器楽合奏、歌唱、手遊び歌やダンス、音楽劇など、幅広い課題に取り組みます。保育の進路実現に向けて、主体的に取り組み、周りの人と協働で考えて活動しましょう。
・保育や幼児教育における応用力の育成をめざして、「保育音楽 I」で習得した自らの技能をさらに研鑽するとともに、周りの人と協働して、活動に主体的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

「保育音楽 I」で身につけたピアノ演奏の知識及び技能をもとに、より難易度の高い曲が弾けるような演奏技能を習得する。合奏や連弾を通して、協力して練習したり一緒に演奏したりする喜びを分かち合う心情を養う。
⑴音楽の基礎知識を理解し、読譜する技能を身につけ、簡単なピアノ作品を演奏する技能を身につけるようにする。
⑵楽譜を深く理解し、作曲者が示した演奏の意図を表現する技能を身につける。ピアノ演奏において、指のタッチによる音色の変化を感じ取りながら、美しい音で表現する力を養う。
⑶保育や幼児教育において音楽を創意工夫して活用しようとする態度を養い、互いの演奏を聴きあってよさを認め合い、自らの演奏において評価・改善しようとする態度や創造性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・音楽の基礎的な理論を理解している。 ・ピアノの正しい奏法を理解し、簡単な楽曲をピアノの演奏で表現している。	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、イメージを膨らませて表現を工夫している。 ・ピアノの音色や音楽表現に耳を傾け、曲想にあった演奏表現を工夫している。	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。 ・自らの学習活動について振り返り、成果や改善点について考察し、目標を持って取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ピアノや様々な楽器を演奏しよう	・バイエルの演奏① 45 番、46 番、48 番 ・子供の歌を弾く① 「こいのぼり」 「とんぼのめがね」 「かたつむり」 「たなばたさま」 ・連弾① 「線路は続くよどこまでも」	a:ピアノの基礎的な演奏技能を身につけている。(技能) b:ピアノのより美しいタッチを意識して奏法を工夫しながら楽曲を演奏している。 b:他者との調和を意識し、連弾表現を工夫している。 c:さまざまな曲の演奏を習得しようと主体的に楽器練習に取り組もうとしている。	・確認テスト ・実技テスト ・発表	・確認テスト ・実技テスト ・発表	・授業観察 ・振り返りシート
	子どもの歌を歌おう	・季節の歌① 「一年生になったら」 「とんぼのめがね」 「茶つみ」「たなばたさま」 ・子どもと歌うさまざまな歌 「ありがとうの花」「虹」 「世界が一つになるまで」 「大切なもの」	a:歌詞と曲想の関りを理解している。(知識) a:楽曲の旋律を正しい音程で歌唱している。(技能) b:曲想をイメージして、表現を工夫して歌唱している。	・実技テスト	・実技テスト	
	楽典①	・強弱記号 ・臨時記号 ・拍子	a:強弱記号や臨時記号、拍子を正しく理解し、読譜することができる。(知識)	・ワークシート ・確認テスト		
二学期	ピアノや様々な楽器を演奏しよう	・バイエルの演奏② 49 番、50 番、52 番 ・子どもの歌を弾く② 「虫のこえ」 「たきび」 「ジングルベル」 ・連弾② 課題より自由選択曲 ・器楽合奏② 課題より自由選択曲	a:ピアノの基礎的な演奏技能を身に着けている。(技能) b:ピアノのより美しいタッチを意識して奏法を工夫しながら楽曲を演奏している。 b:他者との調和を意識し、アンサンブル表現を工夫している。 c:さまざまな曲の演奏を習得しようと主体的に楽器練習に取り組もうとしている。	・実技テスト ・発表	・実技テスト ・発表	・授業観察 ・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	楽典②	・奏法の記号 ・速度標語 ・発想標語	a:奏法の記号や速度標語、発想標語を正しく理解し、読譜することができる。(知識)	・ワークシート ・確認テスト		
三学期	ピアノを演奏しよう	・バイエルの演奏③ 41 番～45 番 ・子どもの歌 課題より自由選択曲	a::ピアノの基礎的な演奏技能を身につけている。(技能) b:ピアノのより美しいタッチを意識して奏法を工夫しながら楽曲を演奏している。 b:演奏者によるピアノの音色や表現の違いを意識して鑑賞し、互いの演奏のよさを評価している。 c:さまざまな曲の演奏を習得しようと主体的に楽器練習に取り組もうとしている。	・実技テスト	・実技テスト ・ワークシート	・授業観察 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度